

でんでら通信 第百二十六号 令和六年十月

坐禅会

十月三十日（水）十時に坐禅会を開催します。
みなさんのご参加をお待ちしております。

煩惱無尽誓願断

お彼岸が過ぎ、ようやく毎日が過ごしやす時期となつてまいりました。秋の訪れを感じさせる虫の音、旬の味覚、夕暮れの短さと、確実に季節が巡ってきていることが感じられます。

しかしご存じのとおり、能登地方の方々にあつては、正月の大地震で大きな被害を受けて、片付けもまだままならない中、今度はこの夏の水災害と、踏んだり蹴ったりで、本当にお気の毒としかいえません。報道を見るたびに、このあたりは今のところ大きな災害にも遭わずに、日々の生活ができることに本当に感謝します。

さて、SASUKE（サスケ）という幾つかの障害物をクリアしていくテレビ番組があります。毎回三千人から四千人の参加者があると聞きます。この中で、最後のファイナルステージに進む者は数人。全部クリアする者はほんの一握り、どうかするとゼロの時もあります。肉体的にも精神的にも磨かれていないとクリアできません。

日常の中で節制し努力して、その大会に勝ち残ることを目指して鍛えあげる。中には仕事を変える者、自宅にトレーニング施設を設け鍛錬に励む者、それ

ぞれの仲間と切磋琢磨する者、いろいろな人がいます。そんな厳しく鍛え上げていても、本番にアクシデントがあつたり、ほんの一瞬の気のゆるみから力を発揮できずに終わってしまう者もたくさんいます。視聴者はそんな参加者の日々の努力、懸命な姿を知り、感銘を受け応援したくなります。

サスケに限らず、先のオリンピック、高校野球など劇的な結果には運としかいえないような不思議なことがあります。

勝負運は、運、不運という時の運なのだからと日ごろの努力を怠つてしまつては、成功はありません。たとえ、その先の勝負に悪い結果があるうがなかるうが、今できることをしなければ、明るい未来はありません。

受験などの学力も同じです。たとえ合格できる可能性が低くても、やればやっただけの結果があると信じて行ふのです。また合格率は十分達していても、おごりから油断すれば不合格もあるのです。人生何があるかわかりません。今できることを行ふしかないのです。

法要などの終わりがけに唱えられる『四弘誓願文』

の中に、煩惱無尽誓願断という文言があります。

煩惱は尽きることはいけれど、それでも断つことを誓います、という意味です。

確かに煩惱は次から次へと湧いてくるものです。その煩惱を消し去ることなんて到底無理だと、諦めたくりますが、そこをなんとかこらえて煩惱に負

けることなく、日々精進し努力してこそ良い結果が導かれるというのです。

煩惱が湧き出て、誘惑に負けてしまい、努力をおろそかにしてしまうと良い結果はうまれない。わかっているにもかかわらず難しい。人ならば至極当然のことです。ではどうすればいいのでしょうか。

煩惱は尽きることはい。ならば煩惱を消し去ろうと考えるところですが、見方を少し変えて、心の炎を燃やすことに眼目を置き、今なすべきことに専念、集中する。つまり、今練習していること、勉強していること、トレーニングしていることなど、努力していることに、集中する。そして成功した自分を想定することによって、自分を奮いたせられれば、おのずと雑念から離れ、今ここに生きる自分自身を見つめ直せることでしよう。

今期、大リーグドジャースで大活躍の大谷翔平選手には、少年時代に自分が目標達成するために作った、マンダラチャートというものがあります。

自分の未来に向けて、今行ふべきことを書き記し、その目標に近づくためには、今何をなすべきかを紙に書き出し、日ごろ目にするところに張り出す。その中には、運や人間性、メンタルという野球の技術以外にも書かれています。礼儀、あいさつ、ゴミ拾いなど日常での行動も記されています。

今期の大谷選手は盗塁数もホームラン数も飛びぬけた成績を残し、毎日ニュースの顔となっています。日ごろから野球に専念し煩惱に惑わされることなく過ごした結果といえるでしょう。さてこれからどんな活躍をするか、ますます楽しみです。